

平成 30 年度

京都女子大学大学院文学研究科  
博士前期課程  
史学専攻（西洋史学）

春季入学試験問題

I 以下の A～C のうち、二つを選び、答えなさい。解答にあたっては、各々につき 1 枚、解答用紙を使用すること。

A 以下の英文を読み、次の設問に答えなさい。

(出典) T. Bryce and J. Birkett-Rees, *Atlas of the Ancient Near East*, New York, 2016. (一部内容を変更)

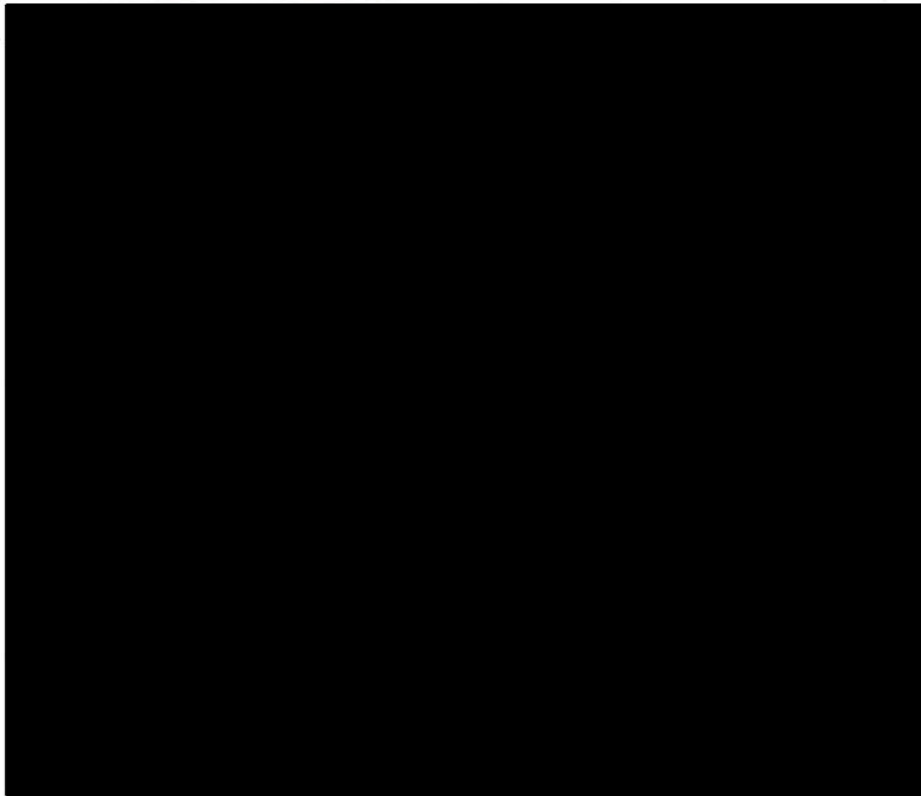
[Redacted text block]

(単語)

seize	握る，とらえる	uprising	反乱，暴動
abruptly	突然，不意に	ominous	不吉な
incessant	絶え間のない	vast	広大な
drought	干ばつ		
unrest	(社会的な) 不安		

設問 上記英文の大意を取り込みつつ，下線部の国について説明しなさい。

B 下記の英文を読み、以下の設問に答えなさい。



出典：Norman Pounds, *The Medieval City*, Greenwood Press, 2005 より

単語：mortality 死亡率 sphere 範囲 surname 名字、姓 trait 特徴

preposition 前置詞 pitfall 落とし穴 forebear 祖先 proceeding 議事録、会議録

will 遺言書 contract 契約書 warden 管理者

設問 1 下線部を訳しなさい。

設問 2 本文では中世都市の人物の名字のことが論じられています。その説明に従いながら、次の 3 人の名字について説明しなさい。

1) William the Short 2) William Wickham 3) Thomas the Tailor

設問 3 中世都市の住民の名前はどんな史料から確認できるのか述べなさい。

C 第一次世界大戦前の国際情勢について述べた以下の文章を読み、設問に答えなさい。

(出典) Sean McMeekin, *The Berlin-Baghdad Express: The Ottoman Empire and Germany's Bid for World Power, 1898-1918* (London: Allen Lane, 2010).

[Redacted text block]

(訳注)

a pipe dream	実行不可能な考え	the Triple Entente	三国協商	infidel	異教徒
smattering	少量	ressentiment	恨み	sedition	扇動

設問

- (1) 下線部 (ア)、(イ) を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部 (A) において筆者は、ドイツ皇帝ヴィルヘルム 2 世が、国際政治上、ある戦略を実行する可能性を有していた、と示唆している。問題文で述べられていることを踏まえ、その戦略について具体的に説明しなさい。

II 以下の I～III それぞれについて、二つの選択肢からどちらか一つを選んで、説明しなさい。解答にあたっては、各選択肢につき 1 枚、解答用紙を使用すること。

I 『ギルガメシュ叙事詩』

アレクサンドロス大王

II 中世ヨーロッパの修道院

イタリアのルネサンス

III アメリカ外交の伝統としての孤立主義

ソ連史におけるスターリンの役割